

日本スキー学会 (*Japan Society of Ski Sciences*, 略称 *JSSS*)

【設立と目的】

1990 (平成 2) 年 11 月、スキー研究の新たな時代を切り開こうという意気に燃えた愛好者や研究者の有志によって日本スキー学会は設立されました。翌年の 4 月には野沢温泉 (朧月夜の館) で第 1 回日本スキー学会大会が開催、5 月に最初の「日本スキー学会誌」が発行されました。当時日本は、スキー人口 1500 万人という大ブームの中でした。

学会の目的はスキー関連諸科学の発展に寄与することであり、スキーを取り巻く様々な課題に対し、様々な専門分野の研究者が多方面から総合的かつ学際的に研究・討議を重ねています。

スノースポーツは、いまや世界的な問題となっている「地球温暖化」や、スノースポーツ人口の減少、それに関連してスキー場の統廃合など、大きな課題を抱えています。こうした問題を敏感に察知し、学会として何ができるのか、何をすべきなのかを考えていく使命があります。



日本スキー学会第 1 回大会 大会役員

【日本スキー学会の活動】

日本スキー学会には、「雪」をキーワードとして様々なスノースポーツに関心をもっている人達が集まっています。スキー・スノーボードはもちろん、スキージャンプ、スノースポーツの歴史、バイオメカニクス、体力科学、医学、スノーリゾートの運営、雪とスキーの摩擦、技術分析、教授法など、分野は多岐に渡っています。

どうしてももっと上手く滑ることが出来るのか、スノースポーツにおける怪我は何故おきるのか、もっとスノースポーツを盛んにしていくにはどうしたら良いのか、様々な疑問を科学的に捉え、現場 (プレーする人や指導者、スノーリゾート等) が利用し易いような回答にしていく、科学的な視点と現場を結ぼうと考えた活動をしています。

◎主な活動

3月：学会大会（基調講演、シンポジウム、研究発表、ワークショップなど）

◇ 大会テーマに沿った雪上でのワークショップをおこなう点や、単にスノースポーツが好きな人と様々な専門分野の研究者が、肩を並べて議論仕合える点は、他の学会にはない特徴です。

3月：研究誌「スキー研究」研究誌の発行

8月：若手を対象とした「研究助成事業」

9月：秋季大会（研究発表）近年はハイブリッド（対面、オンライン）開催表彰

- ・ スキー学会論文賞（3年ごと）
- ・ 日本スキー学会優秀発表賞（学会大会、秋季大会）

その他

- ・ 年3回：会員向け会報「シーハイル」の発行

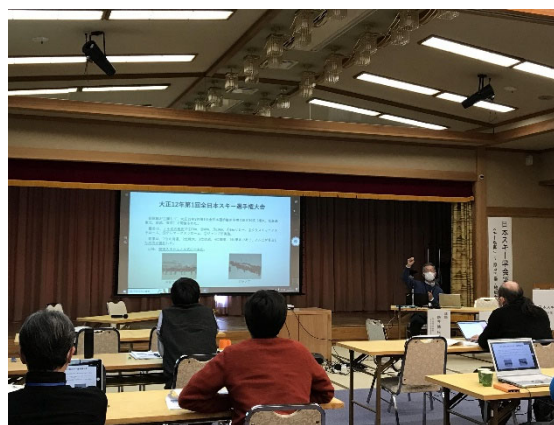
周年企画

日本スキー学会 30周年記念出版 「スキー研究 100年の軌跡と展望」

https://js3.jp/?page_id=1382



雪上でのワークショップ



2023年33回学会大会（長野県大町）

《新入会員募集》

大学等の研究者、現役の指導者だけでなく、スノースポーツが好きな方であれば参加できる、非常にフレンドリーな学会です。いままで考えていなかった視点からスノースポーツを観たり、新たな挑戦へのヒントを得たりするチャンスにしませんか。